

気づこう！ 学ぼう！ 考えよう！

長野県 人権フェスティバル 2025

12月10日(水)は
「世界人権デー」です

※1948年12月10日に「世界人権宣言」が国連で採択されました。

▶ 長野県県民文化部人権・男女共同参画課のYouTubeチャンネルで配信します。

令和7年12月4日(木)より公開 —— 公開終了 令和8年2月28日(土) 予定

当たり前、誰もが持っている「人権」。
人権を身近な問題として学び、理解を深めていただくため
長野県人権フェスティバル2025を開催します。



長野県人権フェスティバル2025WEBサイト
(長野県公式ホームページ)

1. 県内小中学生及び高校生の作品紹介

全国中学生人権作文コンテスト
長野県大会

令和7年度人権意識の高揚を目指す
ポスター・4コマ漫画

2. 人権講演会

ジェンダー主流化

日本社会で
ジェンダー主流化が
なぜ必要なのか？



京都大学名誉教授／大阪大学名誉教授／
国立女性教育会館監事

伊藤 公雄氏

インターネットによる人権侵害

SNS・AI時代の人権と
メディア情報リテラシー：
誹謗中傷・フェイク情報への
向き合い方



国際大学グローバル・
コミュニケーション・センター准教授

山口 真一氏

性の多様性

はじめてのLGBTQ+
～性の多様性と人権～



NPO法人 東京レインボープライド顧問／
日本オリンピック委員会理事

杉山 文野氏

長野県人権フェスティバル



https://www.pref.nagano.lg.jp/jinken-danjo/jinken_festival2025.html

- 主催：長野県人権啓発活動ネットワーク協議会
(長野地方法務局、長野県人権擁護委員連合会、長野県、長野県教育委員会)
- 問合せ先：長野県県民文化部人権・男女共同参画課
(電話番号：026-235-7106 / メールアドレス：jinken-danjo@pref.nagano.lg.jp)

「長野県人権フェスティバル2025」配信視聴のご案内

1. 県内小中学生及び高校生の作品紹介

全国中学生人権作文コンテスト長野県大会

法務省と全国人権擁護委員連合会では、次代を担う中学生の皆さんに、日常の家庭生活や学校生活等の中で得た体験に基づく作文を書くことを通して、人権尊重の大切さや基本的人権についての理解を深め、豊かな人権感覚を身に付けてもらうことを目的として、昭和56年度から「全国中学生人権作文コンテスト」を実施しています。「長野県人権フェスティバル2025」では、令和7年度に県内の中学生から応募があった作品の中から、入賞作品の紹介及び朗読を行います。

令和7年度人権意識の高揚を目指す ポスター・4コマ漫画

長野県教育委員会では、児童生徒の人権意識の高揚を図るため、県内の国公立及び私立の小・中・高等学校から人権課題に関するポスター・4コマ漫画を募集し、優秀者を表彰しています。「長野県人権フェスティバル2025」では、令和7年度に応募があった作品の中から、入賞作品を紹介します。

2. 人権講演会

テーマ ジェンダー主流化

講演時間
約60分



日本社会で ジェンダー主流化が なぜ必要なのか？

伊藤 公雄 氏

京都大学名誉教授・大阪大学名誉教授
国立女性教育会館監事

1951年生まれ。文化社会学、政治社会学、ジェンダー論専攻。現在、京都大学・大阪大学名誉教授、国立女性教育会館監事、京都府男女共同参画審議会会長。内閣府男女共同参画会議専門調査会委員、日本ジェンダー学会会長、日本社会学会会長(2021-2023年)、第23-24期(2014-2020)日本学術会議会員などを歴任。著書に『<男らしさ>のゆくえ』(新曜社)『男性学入門』(作品社)『男女共同参画が問いかけるもの』(インパクト出版会)『女性学・男性学 第3版』(有斐閣)など、共編著に『新編 日本のフェミニズム』全12巻(岩波書店)など。

テーマ インターネットによる人権侵害

講演時間
約60分



SNS・AI 時代の人権と メディア情報リテラシー： 誹謗中傷・フェイク情報への 向き合い方

山口 真一 氏

国際大学グローバル・コミュニケーション・センター准教授

博士(経済学)。専門は計量経済学、社会情報学、情報経済論。NHKや日本経済新聞などメディアにも多数出演・掲載。主な著作に『スマホを持たせる前に親子で読む本』(時事通信)、『ソーシャルメディア解体全書』(勁草書房)、『正義を振りかざす「極端な人」の正体』(光文社)等があり、数々の賞を受賞。他に、シエンブレ株式会社顧問、早稲田大学ビジネススクール兼任講師、日本リスクコミュニケーション協会理事、東京都デジタル広報フェローや、内閣府「AI戦略会議」を始めとする複数の政府有識者会議委員等を務める。

テーマ 性の多様性

講演時間
約60分



はじめての LGBTQ+ ～性の多様性と人権～

杉山 文野 氏

NPO法人東京レインボープライド顧問
日本オリンピック委員会理事

1981年、東京都生まれ。フェンシング元女子日本代表でトランスジェンダー。早稲田大学大学院教育学研究科修士課程修了。大学院卒業後、約2年間にわたり世界約50カ国と南極を旅し、現地で多様な社会課題に向き合う。帰国後は日本初となる渋谷区・同性パートナーシップ制度の制定に関わり、日本最大のLGBTQ+プライドパレードを運営するNPO法人 東京レインボープライドの顧問を務める。2021年6月からは日本オリンピック委員会理事、日本フェンシング協会理事としても活動。社会における多様性の推進と、スポーツ界の発展に尽力。私生活ではパートナーとの間に2児をもうけ、精子提供者である友人と共に「3人親」として子育てを行うファミリースタイルも話題となった。著書に『元女子高生、パパになる』(文藝春秋)。



アンケートに御協力をお願いします。

長野県人権フェスティバルのページから視聴者アンケート記入フォームにアクセスできます。
視聴後はアンケートに御協力をお願いします。

